

皇太子同妃両殿下は、6月12日、本センターを視察されました。

皇太子同妃両殿下は、県立柏の葉公園で開催された第27回全国「みどりの愛護」のつどい式典にご臨席された後、当センターを訪問されました。徳久剛史学長、木庭卓人センター長がお迎えするなか、午後3時前にご到着されました。

木庭センター長から施設概要のご説明を受けられた後、宮崎良文副センター長からのご説明で、「自然セラピー」の実験をご視察されました（後述参照）。

次いで、オーダーメイドによる漢方診療により自然治癒力の向上を図ることを目指した柏の葉診療所において、勝野達郎所長から「生薬」についてのご説明を受けました。

古典的治療法とともに最新の治療効果の提供を目指した柏の葉鍼灸院においては、松本毅院長から「国産ヨモギ栽培によるモグサの品質」のご説明をお受けになりました。

最後に、人々の健康機能の改善に効果のあるハーブ類等約350種類の植物を維持管理する薬草園を視察されました（後述参照）。

約1時間30分に及んだご視察では、多くの場面でたくさんの質問を頂き、当センターの先進的な取り組みや研究について、深い関心を示して頂きました。

徳久学長、森田健作千葉県知事、秋山浩保柏市長らがお見送りするなか、皇太子同妃両殿下は、笑顔をお見せになりながら帰京されました。



研究者に声をかけられる皇太子殿下と脳活動リアルタイム表示

(左端:宮崎副センター長、右から2番目:宋チョロン特任助教、右端:池井晴美社会人博士課程)

池井研究員の脳活動（前額部にセンサー装着・矢印・近赤外分光法）を左スクリーンにリアルタイム表示しました。殿下に話しかけられたことにより、急速に脳活動が高まったため、会場は笑いに包まれ、リラックスした雰囲気になりました。変化の様子を妃殿下、森田健作県知事らが興味深く見ておられます。



木曽ヒノキ精油の香りを妃殿下にお渡しになる皇太子殿下

皇太子殿下同妃両殿下に、ヒノキ精油の香りを嗅いで頂きました。

「森林・木材・花きをもたらす生理的効果に関する研究は、世界において千葉大学環境健康フィールド科学センターが最も進んでいます。今嗅いで頂いた香りや、前に置いてあるバラを見たり嗅いだりするだけで、体はリラックスすることも明らかにしました」とご説明しました。

殿下は「研究、頑張ってください」と励まして下さいました。

さらに「やはりヒノキが良いのですか？」とご質問され、「ヒノキとスギで効果が確かめられています。森林や木造家屋などの香りは、気分的に良いだけではなく、脳も体もリラックスすることが分かっています」とお答え致しました。

退室時に池井研究員の前まで足を運んで頂き、「博士号の取得、頑張ってください」とあたたかい声をかけて下さいました。



薬草園散策のご様子

約 350 種の薬草や薬木、ハーブなどが植栽管理されている薬草園を散策されました。

(左端 渡辺均准教授、右端 木庭卓人センター長)



イブキジャコウソウのご説明

イブキジャコウソウの前で、実際に植物に触れながらご説明を致しました。

殿下は、「イブキジャコウソウですね。良い香りがします。いろいろな薬効があるのですね。伊吹山に登られましたか？私も登りました。昔、織田信長が伊吹山山頂に薬草園を開いたという記録があるそうですね」などとお話し下さいました。

妃殿下からは、「いろいろな植物が人の健康に役立つのですね」とお話し下さいました。